

令和2年度滋賀県希望が丘文化公園活性化等検討懇話会 第1回会議 議事概要

- 1 日 時 令和2年5月25日(金) 15:30~17:00
- 2 場 所 希望が丘文化公園 青年の城 2階 211 研修室
- 3 出席者 委 員：一ノ本委員、北辺委員、平田委員、山本委員、丸山委員
事務局：田村文化芸術振興課長、石野参事、ほか
- 4 議 題
 - (1) 関係機関の意見、サウンディングの結果
 - (2) サウンディング結果等を踏まえた公園の活性化の方向性について
 - (3) 今後のスケジュール

5 会議概要 以下のとおり

	<p>(1) 関係機関の意見、サウンディングの結果</p> <p>・事務局から説明</p>
座 長	民間企業へのサウンディングの全体的な印象はいかがか。
事務局	参入に興味がある民間企業もおられたが、積極的に投資して参入するという意向はないという印象。県側の一定の投資があつて初めて参入できるという意向。
委 員	サウンディング結果はわかったが、基本的な県の方向性は何か。県はどうしたいのか。
委 員	県は野外活動ゾーンと文化ゾーンについて、社会教育施設として残すのか、どう活用するのか。
事務局	資料の8ページで、一定、サウンディングやアンケート等を踏まえた方向性の整理をしているので、説明させていただきたい。今後は、その方向性を固めていきたい。
	<p>(2) サウンディング結果等を踏まえた公園の活性化の方向性について</p> <p>・事務局から説明</p>

委員	<p>どの課題を一番重視しているのか。単に維持管理経費（指定管理料）を下げる事なのか、それとも今の機能を強化することが一番重要なのか。現段階で、どのような見立てをしているのか。</p>
事務局	<p>資料 P.8 の参考で記載した基本計画にもあるように、将来ビジョン策定、基本計画策定、その後の検討の取組には、公園の現状の機能を強化させたい、活性化させたいという思いがある。現段階で、経費削減か、活性化か、のどちらかだけとは言い切れないが、機能を強化し、活性化させたいという思いがある。</p>
委員	<p>機能強化に重きを置くならば、今の維持管理経費を使って、どうやって良い公園を作っていくのかの議論をした方が良い。特に、利用者が減少してきている野外活動ゾーンと文化ゾーンの低下している機能をどうお金を使って魅力的にしていくのか。お金を使って質を上げていくと考えているならば、企業連携のやりようがあるのではと感じている。</p>
座長	<p>指定管理料の他に、施設改修などの公共側の投資と民間投資のバランスをどう考えるのが重要。サウンディングからもわかるように、公園のポテンシャルを引き出すための、民間投資の呼び水としての公共側の投資は一定必要だが、イニシャルの公共投資がどこまで可能なのかという点も検討が必要となる。どういうゾーンにするのか、公共投資をいくらすれば、民間の投資（参入）がどれだけ可能かの選択肢が整理できれば良いと思う。</p>
委員	<p>施設については建設時に造り込んでいる分、リノベーションは行いにくいという印象を持った。</p> <p>青年の城については、国スポ大会までにどうやって稼働率を上げるのがポイントになると思う。野外活動ゾーンは、基礎となる機能が弱すぎるため、お金をかけたからといって利用が増えるかという疑問。今の施設をリノベーションするのではなく、施設が無いところで、新しいものを作って、少しずつ人の流れを変えるという方が良いと感じる。ただ、今の施設は壊すともったいない。</p> <p>スポーツゾーンは何でもあるので、特徴がない。徹底的に尖った施設が必要であると思う。長野県の菅平高原はラグビー合宿での利用が高い。高校から社会人までの多くのラグビーチームが利用しているが、その日にどのチームがどこで練習をしているかわかり、練習試合が組みやすい状況が</p>

	出来上がっているなど、うまく生態系が回っている。その点が魅力となり、利用される。その点は民間だけで作り上げるのは難しく、官と地域が連携して作り上げていく必要があると思う。
座 長	3つのゾーンをバラバラに考えがちだが、3つのゾーンのつながりが大切。スポーツゾーンの利用者の宿泊は主にどちらに泊まれるのか。
事務局	スポーツゾーンの近くのユースホテルと青年の城を利用されている。
座 長	スポーツゾーンから青年の城まではマイクロバスで送迎しているとのことだが、マイカーの利用が許されることについて、どのような抵抗感があるのか。
事務局	家族が芝生ランド等を安全に利用できるところが良いとの意見もいただいております、自由にマイカーを走らせるのは難しいと思う。
座長	東西の交通については、道路の線形や安全性、希望の橋の問題があると認識している。
委 員	全て西側で完結しており、東側に行く必然性がない。宿泊するだけならば、近くのユースホテルで十分だと思う。
委 員	宿泊する人には、園内通行許可書を出して、徐行をお願いすれば、問題はないと思う。それはさせないとなれば、すべてを送迎することとなり、対応は難しくなる。
座 長	駐車場に停めるだけで500円を払わないといけないという部分に抵抗感があるのではないかと思う。園内を自由に車で動けるとなると、抵抗感が和らぐのではないか。
事務局	道で自転車やスケートボードの練習をしている人もいるため、車を自由に通すと安全性に不安がある。
座 長	安全性を確保するためには歩車分離が必要となると思う。国営讃岐まんのう公園は駐車料金と入園料の両方を取っている。公園の中央に駐車場があり、そこで降りて各施設を利用する造りとなっている。工夫の余地はあ

	<p>ると思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>ボーイスカウトの年間利用実績はいかがか。</p>
<p>事務局</p>	<p>平成 30 年度実績で、青年の城の利用は、7 回（4 団体）で延べ約 140 人、野外活動センターは、14 回（8 団体）延べ約 530 人の利用があった。</p>
<p>委 員</p>	<p>野外活動ゾーンまで駐車場から遠いため、車の乗り入れができれば、利用者は伸びてくると思う。管理範囲が広いため、絞って管理すると良いのではないか。</p>
<p>座 長</p>	<p>社会教育施設の位置づけとして、廃止か、存続かの二者択一ではなく、社会教育施設として必要な部分は残し、その他の部分は民間の運営に任せるなど、多様な選択肢があると思う。</p> <p>また、市町や団体の意見は聴取できるが、最大のユーザーであるファミリーなどの一般の利用者のニーズについては、サウンディング事業者を通じて間接的に聞いていくこととなる。どれだけ公共側が投資をすれば、民間事業者がそのニーズを汲み取った活動をしてくれるかどうか、また、その投資を公共側が踏み切れるかがポイントとなる。</p>
<p>委 員</p>	<p>ハコモノを作ると、装置産業となる。一旦、ハコモノを作ると、40 年も変わらないということが多いが、40 年も同じ形態は続かない。青年の城のリノベーションに、例えば、5 億円もかけても、その費用を回収できるほど利用されるかは疑問。高くとも 1 億円で、できる限り安く改修して、見た目を綺麗にする。また、収支についてもできる限り改善させ、レストランやキャンプも一体で行う。当社で、兵庫県の峰山高原リゾートにおいて「楽楽キャンプ」のサービスを提供しているが、キャンプ用品はすべてそろっており食事もデリバリーで、1 泊約 8000 円で年間 1200 万円、夏場のグランピングは 4 棟で 2000 万円、フリーサイトキャンプ場は 300 万円、お風呂の入浴料で 600 万円の売り上げがあり、キャンプ全体で 4000 万円程度の売り上げがある。峰山高原とは、環境が違うので同じようにはいかなくとも、ある程度の売り上げは出ると思う。</p> <p>ただし、スポーツゾーンは毛色が異なるため、公園を専門的に管理している事業者任せたい方が良く思う。つまり、指定管理をスポーツゾーンとそれ以外の 2 つに分ける案が現実的かと考える。</p>

座 長	<p>マキノ町でキャパシティーは200人、年間2万人宿泊がある施設を運営しており、青年の城と類似している。売上が1億4000万円で利益が約3000万円で、施設の改修費も出している。青年の城単体の運営について、宿泊費用を少し値上げし、レストランと一体で運営することで、収支は少し赤字が出るぐらいで運営は可能であると考えます。</p> <p>ポテンシャルはあり、それを引き出す工夫ができると思う。また、ポストコロナの時代にはのびのびとした雰囲気の中で、ゆったり過ごすという空間が必要とされる。この公園の空間をしっかりと確保して、管理していくこと自体が大きな資産になると思うし、特に南草津から野洲にいる子育て世代にとっても貴重な資源となると思う。</p>
委 員	<p>コロナの状況で、子どもたちが遊ぶ場所がなかった。公園は一つの財産ではあるが、これだけの広さを管理するとなると大変だと思う。広大な敷地としてどこまで維持管理するのも検討の余地がある。また、一つの案として、駐車場を公園の中央に持ってくることも一つの切り口だと思う。南駐車場の拡充など。真ん中に拠点ができるとそれぞれのゾーンが近くになると思う。その中で、民間との連携の案が出てくるのでは。</p>
座 長	<p>ぜひ、国営讃岐まんのう公園に視察に行ってほしい。自動車園路、歩行者園路、サイクリングロードがそれぞれある。</p>
事務局	<p>駐車場を中央に置いたり、道路拡幅、歩行者園路を整備するとなると、かなりのコストがかかり尻込みしてしまう。</p>
座 長	<p>インフラの投資も必要。公共側が何も投資せずに民間に考えさせるのではなく、公共側で園内全体のモビリティを向上させるための投資をすることで、民間の参入が促せるのではないかと。</p>
委 員	<p>便利に行くのではなく、移動すること自体を楽しませるという手段もある。富山県の宇奈月温泉街では、約20km/時の低速電気バスを走らせている。移動すること自体をエンタメ化している。</p> <p>機能が昔のままであるため、例えば、青年の城も20人部屋ではなく、せめて4人1部屋にはしなければならないと思う。米原市のグリーンパーク山東のグランピングは、1泊2万5000円程度。市の指定管理のまま民間が投資をした。実際に高い稼働率を維持している。借景も特別ではな</p>

	<p>く、やり方次第で、あのような場所でも人が来る。希望が丘もできると思う。あとは、「集団でのリクリエーション」というテーマを外す必要がある。</p>
<p>委 員</p>	<p>大きな金額をかけて投資するよりも、張りぼて投資（安い投資）で良いので、上手にリノベーションしていくことが大切。</p>
<p>座 長</p>	<p>園路整備、安全対策、上下水道整備など、インフラ整備を公共側で行って、ポテンシャルを引き出す民間投資を促すことが重要。</p>
<p>委 員</p>	<p>トイレを和式から洋式へ改修するだけでも随分変わる。基本計画の内容に立ち返って、公共投資が必要であり、自然を活かすことが重要。</p>
<p>座 長</p>	<p>ゾーンごとに整理したり、団体ごとに意見を聞くのではなく、利用者のセグメントで考えることが必要ではないかと思う。例えば、グランピング施設に泊まって、翌朝、ハイキングして帰るなど、家族はどこで、どのように楽しめるのか、高齢者夫婦はどこで楽しめるのか、を考える。家族の利用ニーズと青少年団体の利用ニーズの適正量を把握して整備し、そのサービスに応じた利用料金とする。必ずしも公共だからすべて安く提供する必要はなく、社会教育施設として残す部分は利用料を低く抑え、一般の利用への高いサービスには利用料を高くするという考えでも良いと思う。</p> <p>単にコストの削減だけではなく、資源を活かして活性化をしていくという前提で、ゾーンごとだけではなく、公共投資も民間投資も考えていくことが必要。</p>
	<p>(3) 今後のスケジュール ・事務局から説明</p>
<p>座 長</p>	<p>類似の施設を見ていただき、参考にしてほしい。今のままでは単に車の乗り入れをさせるのは難しいため、土木工事は必要になってくると思うが、民間を呼び込むための公共投資も必要。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>